



議会だより

なよろ

17

No.

2010 . 7 . 1 発行



誰が一足先にたどり着く。50m先のゴールをめざし、力の限り走りぬけ。(50m徒競走)

6月13日、晴天のもと第52回運動会。
4人の気持ちを大玉にのせて急げや急げ
落とさぬように。(大玉はこびりレー)
(名寄西小学校・上・右上)



5月29日、Revolution“君がやらなきゃ誰
がやる？”のテーマで、現在のグラウンドで
は最後の体育祭。競技は一年生「全力疾走、
燃えて燃えて燃えつきる」(10人11脚)
(風連中学校)

第2回定例会

主 な 内 容	定例会で決まったこと	2
	代表質問に4人・審議日程・可決された意見書・議会日誌 ...	3 ~ 6
	一般質問に9人・議員協議会	7 ~ 11
	政務調査報告	12 ~ 14
	各委員会活動報告	15
	へこたれない・編集後記	16

第2回定例会 6月4日～18日の15日間

新市長の政策予算を審議

～政策予算を含む総額約7億3千万円の補正予算を可決～

平成22年第2回定例会は、6月4日から6月18日までの15日間開かれた。議案等の審議では、条例案9件、補正予算案4件、その他議案10件、意見書5件を可決し、報告14件、諮問1件を審議した。

市政執行方針・教育行政執行方針を受け、15日・16日の代表質問には、会派を代表した4人の議員、16日・17日の一般質問では9人の議員が市政の課題について質問した。

主な条例

名寄市立総合病院看護師等学資金貸与条例の一部改正

将来、名寄市立総合病院に看護師として就職を希望する学生を確保するため、近隣の自治体病院と比較して低額な貸与額を増額し、慢性的な看護師不足へ対処する。助産師課程に在学する者に対する貸与額を現行7万円から10万円に、看護師課程に在学する者に対する貸与額を、大学、専門学校等の区分を設けず、自宅通学以外の者を7万円、自宅通学者を4万円とする。

主な補正予算 ～付帯決議を付す～

(仮称)複合交通センター整備事業費

名寄駅横に建設を予定している、(仮称)複合交通センターの用地取得費等で、1億9,051万5,000円を追加。市議会として、平成21年10月30日第6回臨時会以降、いまだに具体的着手に至っていないことから、(1)平成22年第3回定例会までに具体的計画を明らかにすること (2)市民及び議会にさまざまな手法を用い説明責任を果たすこと、の付帯決議を付けて可決した。

農林水産物処理加工施設整備事業費

国の農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用して加工施設を整備する。施設建設の実施計画費等で3,134万5,000円を追加した。

人事案件

人権擁護委員

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

佐藤 源嗣氏(再任)

名寄市字徳田65番地127

村上 勝浩氏(新任)

名寄市西3条北5丁目14番地2

第1回臨時会 5月11日開催

久保副市長に同意

副市長

名寄市副市長の選任について同意しました。

久保 和幸氏

名寄市風連町西町169番地7



教育委員会

名寄市教育委員会委員の任命について同意しました。

梅野 博氏

名寄市西1条北1丁目9番地1



名寄市教育委員会委員の任命について同意しました。

藤原 忠氏

名寄市西6条南9丁目1番地41



新議員の紹介

上松 直美議員

4月18日の補欠選挙により当選しました。

総務文教常任委員会委員
会派 清風クラブ



代 表 質 問

公約と行財政運営

市政クラブ 駒津 喜一 議員



■ 選挙公約について

問 新市長の任期4年間を見据えた、選挙公約6項目について、これからの財政運営を含めて、具体的にどのように進めていくのか。

答 民間会社名寄市の発想で、名寄市の特徴ある施設を民間の活力を生かして、市民と行政が一体となったまちづくりを進めていく。食肉センターは、老朽化した現在の加工施設を改善し、平成24年度に、本体工事着工を予定している。看護師確保の対策として、看護師養成機関との連携と学資援助等に対応していきたい。病院駐車場問題は、立体駐車場整備を総合計画ローリング作業で具体化していきたい。名寄市立大学の大学院設置は、基本構想となる保健・福祉にどのような関連を持たせるかなど課題が多い、また、児童学科の4年制化も、教員確保や施設の増

設等財政状況も含めて学内で早急に検討していきたい。高齢者福祉の充実では、民間の施設として老人保健施設とケアハウス、介護型有料老人ホームが計画されている。

■ 賑わいの創出を

問 公設の施設建設計画である名寄駅横複合交通センターと文化ホールの建設は、これからの名寄市のまちづくりと市民生活に大きな影響があるが、事業の進捗状況はどのようになっているのか。

答 複合交通センターは、現在、JR用地取得に向けた作業中で、計画案の策定段階で市民の意見を取り入れていきたい。文化ホールは、平成24年度から25年度の着工をめどに、ホールの規模と建設場所を決定していきたい。

他の質問・平成22年度行財政運営について・健康で安心できる福祉行政について・経済の活性化によるまちづくりについて・教育行政執行方針について



拡張が望まれる名寄市立総合病院の駐車場

審 議 日 程

6月4日(金)

- ・開会
- ・委員会報告(付託議案)
- ・市政執行方針
- ・教育行政執行方針
- ・議案の審議

14日(月)

民生常任委員会

15日(火)

- ・代表質問
- 経済常任委員会

16日(水)

- ・代表質問
- ・一般質問

議会運営委員会

民生常任委員会

17日(木)

- ・一般質問
- 民生常任委員会

18日(金)

- 議会運営委員会
- ・委員会報告(付託議案)
- ・議案審議
- ・意見書案の審議
- ・閉会

代 表 質 問

あいさつの励行

凜 風 会 佐藤 勝 議員



■ 玄米バラは 23 年実施

問 “日本一のもち米”の質・量ともに兼ね備えた「名寄ブランド」を確立するため、安全・安心・良質なもち米の供給、大量・均一な品質を誇る産地形成のため、農家経済負担軽減のため「玄米バラ集出荷施設」の早期の整備を。

答 実需者からの「売れる米づくり」の要望に応えるため物流改善、高品質米、均質化、異物混入防止策として既存施設の増設を計画している。道北なよろ農協が事業主体で、曙の現施設に増設する。処理能力は既存の1,550トンから4,200トンへ、1日処理能力は既存施設で34.4トン、増設分で58.9トンの計93.3トンを予定。事業実施年度は平成23年度。事業費は3億1千万。農協、上川総合振興局と協議中で、有利な補助事業等に対応したい。

■ 新住宅リフォーム策を

問 21年度で終了した住宅リフォーム助成制度は、3年間で13億円を超える事業成果を生み、建設業界のみならず、多方面に大きな波及効果をもたらした。不況下にある現在、新たな景気浮揚策として対象事業費100万円以上を50万円に引き下げ、助成額を20万円から10万円とする新たな住宅リフォーム策の創設を。

答 住宅リフォーム促進事業の3年間の成果は、628件、補助金1億2,560万円、事業費は10倍以上の13億1,000万円。雇用対策、地元企業の育成、高齢社会に対応するバリアフリー化等の効果があった。3年間では、小規模な改修に対する希望も多かったと想定していて、今後の住宅事業助成のあり方を中小企業振興審議会・市内建設業者と協議していく。

他の質問・合併特例区後のまちづくり・駅横再開発・文化ホール・望湖台センターハウスの存続・あいさつの励行・シカ等の食害対策・口蹄疫侵入防止対策・分別の徹底・新学習指導要領



平成 23 年に増設整備予定の玄米バラ集出荷施設（名寄市曙地区）

可 決 さ れ た 意 見 書

- ・ 子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書
- ・ 小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書
- ・ コメの戸別所得補償対策等の見直しを求める意見書
- ・ 機能的低血糖症に係る国の取り組みを求める意見書
- ・ 森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書

代 表 質 問

未来に誇れる郷土を

緑風クラブ 中野 秀敏 議員



力強い産業づくりと雇用の創造を推進

問 20年先の名寄市を見据えた将来像は。

答 100年余りの歴史の中で築かれた財産を活かし、20年先を見据え、夢を語れる元気な名寄市をつくるため、力強い産業づくりと雇用の創造を推進し、市民の皆さんから愛され、明るく住みよい活力あるまちづくりを目指す。

そのためには、農業、農村の持続的な発展や地域ブランドの育成により、観光資源を活かした交流人口の拡大と地域力の創造を図り、各界各層のあらゆる力を結集して、未来に誇れる郷土を築いていく。

一定金額を委託費として助成

問 風連地区におけるコミュニティセンターの地域移管の方向性は。

答 地域コミセンの7施設の現行の維持管理費

は、施設の規模等によって施設間に相当の差異がある。また、地域の自主管理となると住民に一定程度の負担が伴うので、維持管理費のすべてを地域に求めることは困難と考えている。維持管理運営費については、各施設毎に一定金額を委託費として助成する形を考えている。

今後、各地域住民の負担が均一となるよう調査が必要であり、また、風連地区で自主管理をしている地域の会館、あるいは、名寄地区で自主管理している施設では、住民がどの程度負担をしているかを参考にすると共に、地域の理解を得ながら、あまり過度な負担とならないよう十分な協議が必要と考えている。

他の質問・公約実現に向けての方策は・民間会社名寄市の基本理念は・行財政について・自治基本条例施行における今後の取り組みは・今後の主要課題について



地域の自主管理を進めるコミセン（西風連）



力いっぱい綱を引く議員勇姿

チャレンジデーに参加

議員会

5月26日（水）チャレンジデー市民綱引き大会に議員会も参加しました。結果は例年通り、1回戦であえなく敗退でした。

なお、チャレンジデー2010の市民綱引き大会参加数では、全道一となっていることが北海道綱引き連盟 富田勝理事長より紹介されました。

代 表 質 問

総合計画の進捗と事業

市民連合 竹中 憲之 議員



保健福祉医療の充実を

問 市立総合病院の地方センター病院としての機能の強化、医師をはじめとする医療スタッフの確保と、介護施設の充実を

答 医師法による適正数の医師は確保しているが、一部常勤医師が充足していない所もある。看護師については、10対1の配置基準は満たしているが、夜勤のできる看護師の数に余裕のない状況のため15から20名ほど必要と考えている。設備面の課題として、精神科病棟改築、駐車場の整備があるが、総合計画ローリングで方針を示したい。

介護施設の増床については、29床の小規模ケアハウスと小規模老人保健施設並びに30床の介護付有料老人ホームの建設が、民間により予定されている。

新事業の明確化を

問 食肉センターの整備については、総合計画に登載されている内容と差があり、過疎債・国庫補助を活用しての事業であるが、最優先しなければならない事業なのか。また、名寄駅横に予定されている(仮称)複合交通センターのJR用地取得と建設計画の説明を求める。

答 食肉センター改築については、市とニチロ畜産で施設の老朽化に伴う改修をすることで計画を進め、食肉センターと加工施設を一体とした整備計画を、平成21年に農水省に申請し、加工施設のみ採択となった。畜産業の振興、雇用の創出、地域経済の活性化を推進するため一体整備が必要なことから建設を決定した。公約でもあり整備を進めたい。複合交通センターは、賑わい創出の拠点として建設するものである。また、JR用地取得は、民間事業と行政事業の一体化を図るためのものである。

他の質問・インフラ整備について・教育問題について・広域行政について・消防の広域化とデジタル化について・日本国憲法と施策について



購入の名寄駅横JR用地

議 会 日 誌

- 3月18日 ・ 議会報特別委員会
- 4月8日 ・ 経済常任委員会
- 12日 ・ 北海道市議会議長会道北支部議長会
- 21日 ・ 民生常任委員会
- 22日 ・ 北海道市議会議長会第73回定期総会
- 27日 ・ 各会派代表者会議
- 建設常任委員会
- 5月7日 ・ 各会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 10日 ・ 経済常任委員会
- 11日 ・ 議会運営委員会

- ・ 第1回臨時会
- ・ 民生常任委員会
- 13日 ・ 全国自治体病院経営都市議会協議会第38回定期総会(東京)
- 20日 ・ 総務文教常任委員会
- 21日 ・ 各会派代表者会議
- ・ 民生常任委員会
- 26日 ・ 栃木県宇都宮市議会行政視察来名
- 28日 ・ 経済常任委員会
- 31日 ・ 議会運営委員会
- ・ 議会報特別委員会
- 6月2日 ・ 建設常任委員会
- 4日 ・ 議会運営委員会

一般質問



使いやすい市役所に

日本共産党

川村 幸栄 議員

市民サービスの充実を

問 市政執行方針に、機能的かつ効率的市役所づくりを目指すとして、市民ニーズに的確かつ迅速に対応できる職員の育成と研修に努めるとある。今年、組織機構の変更などもあり、市役所内の様子が分かりづらいなどの声もある。市民や市外からの訪問者が、分かりやすい案内板の設置など親切な対応が必要と思うが、また、名寄・風連両庁舎の使い勝手の良い有効活用を。

答 来庁者には、挨拶の励行など率先して声かけをしている。庁舎の有効活用については、住民の利便性を重視し検討を進めている。

生徒指導について

問 重要施策の一つとして「生徒指導」に取り



安心して暮らせる街へ

公明

高橋 伸典 議員

子宮頸がんワクチン助成を

問 乳がん・子宮頸がん無料検診の受診状況は、全国で年間3,400人程度の女性が亡くなる子宮頸がんは、ワクチンを接種することで70%予防できるが、ワクチン接種への助成の考えは。

答 女性特有のがん検診に対する支援事業の乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券の受診状況は、乳がん検診は、1,030人中259人、子宮頸がん検診は、933人中216人と、受診率が低いため、広報などを活用して、周知徹底を図る。平成21年度に出産した249人のうち20歳代数人に子宮頸がんが発見された。若い世代からの積極的なワクチンの接種は、大変重要と考える。今後、国の動向を見据えながら情報収

組むとしているが、監視ではなく、見守り、寄り添うことが大事である。生徒たちが相談できる場である「心の教室相談員」の配置は、無くてはならないものとするが、どのように進めるのか。

答 青少年の問題行動の早期発見、適切な指導（早期対応）、未然防止に取り組む。心の教室相談員のカウンセリング講習会などに取り組み、一層の充実を図る。

他の質問・教職員への支援・福祉の充実



「あいさつ運動」で地元町内会の皆さんからも喜ばれている名寄中学校

集を行い協議する。

介護保険事業計画

問 介護施設の待機者解消策と低所得者が安心して利用できる負担軽減策と支援策は。

答 介護付き施設の入所待機者数は、申請数から270名です。解消策は、民間による小規模ケアハウスと小規模老人保健施設の58床が計画されている。特別養護老人ホームでの経済的負担は、低額で入所でき、また、低所得者に対する軽減措置があり、多くの方々が希望されている。



小学校6年生以上の女子への早急なワクチン接種助成が望まれる

一般質問



新名寄市総合計画

清風クラブ

上松 直美 議員

■新名寄市総合計画の実施計画について

問 新名寄市総合計画の実施計画におけるローリング方式や行政評価(事務事業評価)システムについて、どのように実施しているのか。

答 ローリング方式は、総合計画の実施計画を対象として、向こう3年間の事業計画について、毎年度、見直し等の作業を行っている。ローリングの流れは、担当部局における見直し、市長ローリング、総合計画庁内推進委員会及び推進市民委員会を経て決定し、次年度以降の予算編成に反映している。また、事務事業(行政)評価システムとしては、市が実施する事務事業について、目的や目標に対して成果を評価し、事業事務を改善し、見直しを図っている。



不当な訪問販売を撲滅

市民連合

佐藤 靖 議員

■職員提案要綱と消費者被害防止

問 今年3月26日に名寄市職員提案要綱の訓令が出たが、内容が堅苦しく、職員が自由闊達に提案できる運用にすべき。また、安心な名寄づくりの一環として、来年5月31日までに設置しなければならない住宅用火災報知機だが、設置率は昨年12月末で44.5%と低い。町内会と連携して積極的に取り組むべきではないか。さらに、北海道消費生活条例が改正され、悪質商法から消費者を守ることに力点が置かれているが、名寄市でも「不当な訪問販売お断り」などと明記したステッカーを作成し、全戸配付すべきではないか。

答 職員提案要綱は、職場の縦のつながりを越

■複合交通センター整備事業について

問 バス路線等の利便性の向上や、デマンド交通のような効率的交通システムの導入を検討しているのか。

答 都市再生整備計画において、市民アンケート、市民要望を調査・収集し、様々な要望の評価・検討の中で、複合交通センター整備事業との整合性を考慮し、市内循環バスの再編を含め、効率的で高齢化社会に適応したスムーズな交通システムも検討している。



【名寄市の将来像イメージ図】

えて、若い人でも自由な発想での提案を求めるものであり、運用に際しては柔軟性を持ち、職場内で働きかけをしたい。火災報知機における町内会との連携は当然。ステッカーは、デザインを検討し、広く全戸に配布したい。

■看護師確保に全力を

問 募集の雇用条件掲載方法を見直すとともに潜在看護師の把握、募集活動支援体制の確立を。

答 掲載方法は見直し、潜在看護師把握に努める。支援する機構についても検討する。

他の質問・JR名寄駅横整備事業



この種のステッカーが全戸配付される

一般質問



魅力ある名寄を

凜風会
木戸口 真 議員

市長の公約

問 公約の進め方として、食肉センターの財源確保は。また、どのように市民理解を得るのか。

答 食肉センター整備は、雇用の拡大、道北の畜産基地として欠かせない事業である。加工施設は、10億6千万円で平成23年工事。食肉センターは、6億1千万円で平成24年工事予定。食肉センターは、現在、有利な起債、補助の見通しがなく、財源は、5年据え置き20年償還の、と畜債だけでは、厳しいと認識しており、応分の財源負担を二チ口畜産と協議中である。来年度予算編成には、具体的な財源を示す。

名寄を知って

問 定住化促進と短期移住体験住宅事業、名寄

市立大学の名寄休暇村構想の取り組みが必要と思うが。また、公共施設住宅等の活用を。

答 魅力的な移住体験ツアーなどを企画して、名寄を知ってもらえるようPRを行う。名寄市では、移住関連の滞在施設を保有していないため、民間での対応となっている。今後は、公共施設等の利活用を庁舎横断的に検討したい。大学から提案のあった名寄休暇村構想は観光振興に有益なもので、関係機関・大学生を交えて、実行に向けて取り組んでいく。



築46年以上が経過して老朽化した食肉センター



市民が主役

緑風クラブ
大石 健二 議員

新たな視点でまちづくりを

問 名寄駅横再開発と文化ホール建設などトータルで描く市街地再開発の青写真について、どのような場で協議を深めるのか。また、社会資本整備事業と固定資産税収との見合いによる新たな手法の採用など、まったく新しい着想と発想による名寄地区中心市街地の、再生と活性化への取り組みとその対応は。

答 市民のご意見を広く取り入れながら、多様なニーズに応えるべき整備内容で、中心市街地に賑わいを取り戻していきたい。

名寄市立大学の品格が問われる

問 名寄市立大学で今春発覚した、教授による学生や教職員への職位を利用したハラスメント

(嫌がらせ・迷惑)行為に対する事件の一連の顛末は。

答 今回の件については、市民の皆さんに深くお詫び申し上げます。複数の学生による訴えにより調査を行ったところ、行為を裏付ける経緯があった。その結果を重くみて、懲戒免職に次ぐ重い停職6カ月とした。すでに退職しており退職金は、道市町村職員退職金手当組合から支払われるが、自主返納を求める考えはない。他の質問・名寄市行財政改革を問う・健康の森パークゴルフ場の利用時間設定を問う



微笑みがこぼれるまちづくりを

一般質問



ブックスタートの推進

市政クラブ
岩木 正文 議員

子育て支援の推進

問 ブックスタートは、図書館、保健センター、子育て支援センターや地域の人たちが、赤ちゃんの幸せを願う気持ちを共有し、力を合わせ行う活動であり親子の触れ合いのためにも、名寄市として推進していくべきでは。

答 子育て支援センターや本の読み聞かせボランティアの協力により、乳幼児検診時に読み聞かせを行い、親子の触れ合いの大切さを伝えてきている。ブックスタートは事業費を含め、今後の課題としたい。

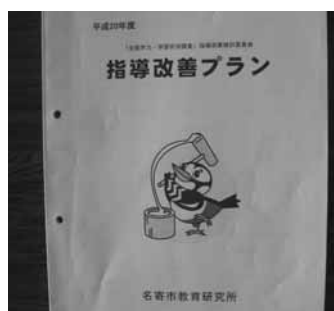
指導改善プランの検証

問 新学習指導要領への移行とも関連して、指導改善プランの成果と検証を、どう捉えている

か。

答 教育委員会としては、確実に成果が上がっていると捉えているが、学習内容が増加する新学習指導要領への対応の指針となるので、本年度の結果を検証する中で、さらに加えるべき課題や方策を検討し、日常の授業の中で生かしていくことが大切と考えている。

他の質問・携帯電話トラブルの啓発・名寄市立大学でセンター試験の実施を・サマージャンプ台の活用・有料広告の拡大は・市税及び各種支払いのコンビニ納入について



確かな学力の向上を

議員協議会

駅横など補正予算の説明

6月4日定例会初日の本会議終了後、議員協議会が開催された。

名寄市土地開発公社、名寄振興公社、ふうれん望湖台振興公社、ふうれん、名寄社会福祉事業団の各経営状況の報告を受け、議員から22年度各事業計画を含め質疑が行われた。

名寄振興公社は、前年を上回る実績となり、当期純利益45万6,000円を計上し、ふうれん望湖台振興公社は、利用者増と経費削減効果により、累積赤字430万円をすべて解消し、17万1,000円の黒字を計上した。

また、平成22年度一般会計補正予算案他3件についても説明を受けた。この補正予算案は、前市長が編成した骨格予算を新市長が政策により肉付し、継続・新規40事業、一般会計で7億132万2,000円の追加となっている。公共施

設修繕や整備を中心に緊急性の高い事業を盛り込み、財源は、見込める歳入の他に、財政調整基金1億8,000万円を取り崩し対応する。主なものは、名寄駅横整備、風連中学校施設等整備、新規には、農林水産物処理加工施設整備、特別支援学級支援員設置、天文台駐車場整備などが盛り込まれている。加藤市長の公約にそった内容、緊急度の高い事業が主なものとの説明があった。



政務調査報告

市政クラブ

平成21年6月30日から7月3日まで次のとおり視察研修を行った。

新天文台の振興について、なよろ市立天文台にご尽力をいただいた山田義弘氏の話进行。

1. 新天文台の研究課題について
2. 北大等との望ましい連携について
3. 配置職員及び市民との関係について

千葉県香取市「農事組合法人和郷園」の取り組みについて副代表理事より現地での説明を受けた。

1. 和郷園設立の経緯について
2. 経営の方法と販売方法について

3. 営農上の特長について

流山シティーセールスについて研修・市内視察をした。

1. シティーセールス制度の立ち上げの経緯について
2. 具体的事業とターゲットについて
3. 流山市の中の位置づけについて



和郷園にて担当者より説明を受ける

市民連合

議員5人で構成する市民連合では、政務調査費を有効に活用し、平成21年6月28日から7月1日まで、鳥根県安来市、出雲市、鳥根県倉吉市、鳥根市を視察し、10月9日・10日には札幌市で開催された「行財政縮小時代における議会の役割と自治体の財政規律セミナー」に参加した。さらに12月21日には、建設計画が見直された下川町のサンルダム、名寄市で建設途上にあった市立天文台、ふうれん地域交流センターを視察した。

道外視察では、安来市で安来市立病院改革プランをはじめ3点。出雲市ではまちづくり基本

条例等3点。倉吉市では定住自立圏中心市宣言等3点。鳥根市で市政提言箱等3点。合わせて12点について学び研鑽を深めるとともに意見を交換してきた。また、札幌でのセミナーでは、総合計画の策定のあり方等についても見聞を広めた。



倉吉市役所にて定住自立圏中心市宣言等について学ぶ

凜風会

地域づくりとまちづくりを研修課題とし平成21年11月3日～6日までの4日間九州地方を中心に、鹿児島県霧島市では、住民が知恵を出し合い公民館を主体とした個性豊かな活力ある地域づくりに支援をする「地域まちづくり支援事業」について、宮崎県都城市では、権限・財源・人間の3げんセットを地域に移譲し、地域内分権や行政との役割分担を推進した「まちづくり協議会の設置」について、鹿児島県志布志市は共生・協働・自立のまちづくりを目指し地域振興策に対し支援する「ふるさとづくり委員会」の設置について、宮崎県宮崎市では、地域

のことは地域で解決、地域主権を重視した「宮崎市地域自治区」の設置について、それぞれ政務調査費を有効に活用し、地域自治の重要性を学んで来た。12月21日工事凍結中のサンルダムを現地調査、工事関係者より工事進捗状況の説明を受けた。



宮崎市では地域自治区について研修し、認識を深めた

政務調査報告

緑風クラブ

緑風クラブは、平成22年1月17日から21日までの5日間、ユニークな取り組みでその活動が注目されている山口県山口市の『夢のみずうみ村・山口サービスセンター』をはじめ広島県呉市の『小中一貫教育』、同三原市の『ダイヤモンド交通』の現地政務調査を実施致した。

私達が住まう地方都市は、慌ただしく変遷する政局の混迷の中に置き去りにされ、地方議員の私達は新たな視点の模索と果たすべき役割の質的向上が強く求められている。

こうした中で緑風クラブは、今年度の活動視点に“窮迫する財政の身の丈に見合った本来あ

清風クラブ

平成22年2月22日より24日まで、市民活動サポートセンターアンティ多摩、社会福祉法人「こうほうえん」を視察をした。

市民サポートセンターアンティ多摩は、多摩社会教育会館の市民活動サービスコーナーが財政健全化計画により廃止された事から、30年間継続した事業のネットワークを、継続・発展させたいとの思いで誕生した。事業は、市民活動情報の収集、提供事業、講座、集会、ネットワーク事業、市民活動への相談、援助事業。

社会福祉法人「こうほうえん」は、品川区のヘルスケアタウン自治体が手掛ける高齢者住宅

日本共産党

岩手県西和賀町行政視察（平成21年10月20日）

昭和30年代、豪雪と貧困と多病に苦しんできた岩手県の小さな村（旧沢内村）が、日本で初めて乳幼児死亡率ゼロを達成し、60歳以上の高齢者と乳児の医療費を無料化した。

平成17年湯田町と合併後も、「何よりも命を大切にするのが政治の責任」と語った当時の深澤晟雄村長と村民が力を合わせて行った「生命尊重の行政」が受け継がれ、命の砦としての沢内病院を守っている。その歴史と現在の取り組みについて学ぶ。

自治体問題研究所主催の市町村議会議員研修会

るべき地方行政は、どうあるべきか”を掲げている。今回の政務調査は、こうした観点に立って地方自治体における「福祉行政」「教育行政」「公共交通行政」について、それぞれ現地踏査と実務担当者から多くを学ぶことができた。



呉市で小中一貫教育を学ぶ

事業である。平成19年に廃校になった原小学校を活用して開設された。区が小中一貫教育を推進する中で原小学校は近くの中学校に統合された。その活用方法として公設民営による高齢者住宅を考えた。1階は体育園、敬労会館、広場を設置、2階3階はケアホーム高齢者住宅である。



社会福祉法人「こうほうえん」視察

（平成21年11月9日・10日、札幌市）

いま多くの自治体が抱えている問題に、議会がどのように係わるが必要になっているのかを、研究者の報告と福島町議会議長の実践報告で学ぶ。専門選択講座では、自治体の財政について研修。



町民の命の砦、町立沢内病院

政務調査報告

まちづくり

地域の活性化を願う市町村議会議員を中心として構成されている「グリーンシード 21」の研修会等に参加した。

平成 21 年 4 月 18 日のグリーンシード 21 フォーラムでは、「景気後退期の自治体運営はどうあるべきか」のテーマで、釧路大学学長小

磯修二氏と北海道大学公共政策大学院教授山崎幹根氏の講演を聞いた。また、平成 22 年 1 月例会では、室蘭市議会議員青山剛氏のマニフェスト大賞受賞経過についての報告、山崎幹根教授の「スコットランド地方分権調査結果」の講演を聞いた。

公明

品川区のヘルスケアタウン自治体が手掛ける高齢者住宅事業のヘルスケアタウン「にしおおい」は、平成 19 年 3 月末で廃校となった原小学校の校舎を活用して開設された。

区では小中一貫教育を推進する中で、原小学校は大正 12 年の開校と歴史のある学校だったが、校舎の耐震性に問題もあり、中学校に統合させる形で廃校とした。その活用方法として公設民営による一階には体育園・敬老会館・広場を設置し、二階三階はケアホーム高齢者向け優良賃貸住宅を社会福祉会に運営を委託している。

市民活動サポートセンター・アンティ多摩は

平成 13 年に NPO 法人格を取得し、市民活動情報の収集や提供・整理・保存し「ミニコミ広場」を公開したり、「市民活動ひろば」の編集や講座や団体同士の交流や市民活動げんき講座ワークショップなどの企画・実施するなかで市民活動への相談・援助を行っている。



ヘルスケアタウン「にしおおい」視察

政務調査費とは

政務調査費は、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、会派（所属議員が 1 人の場合も含む）に対して交付しています。

交付額は議員 1 人当たり、月額 10,000 円です。

「10,000 円 × 12 カ月 × 会派所属議員数」が会派への 1 年間の交付額になります。

平成 21 年度各会派の政務調査費概要報告

名寄市議会
単位 円

	市政クラブ	市民連合	凜風会	緑風クラブ	清風クラブ	日本共産党	まちづくり	公明
政務調査費交付額	960,000	600,000	480,000	480,000	240,000	120,000	120,000	120,000
返還（未執行）	34,055	41,375			29,624		67,668	9,016
H 21 年度交付額	925,945	558,625	480,000	480,000	210,376	120,000	52,332	110,984
支 出								
研究研修費	74,950	83,536				24,500	52,332	21,275
調査旅費	824,490	454,534	482,654	546,962	123,609	70,890		58,751
資料作成費				420				2,000
資料購入費	26,400	3,780		4,000	72,310	15,010		21,000
広報費			5,250	13,460		8,370		
広聴費			920	2,943		2,632		
その他経費	105	16,775		6,123	14,457	855		7,958
計	925,945	558,625	488,824	573,908	210,376	122,257	52,332	110,984

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は5月20日に開催し、所管する総務部、教育委員会、名寄市立大学から平成22年度の主要施策や取り組み等について報告を受けた。この中で、定住自立圏構想に関して年度内に中心市宣言をする方針であること。4月16日に

オープンした「なよろ市立天文台」が予想以上の来館者を迎え、今後さらに期待される施設となったことが説明された。

5月5日現在で来館者2,500人を超えた市立天文台



民生常任委員会

委員会は、4月21日、5月11日・21日、6月14日・16日・17日の6回開催した。第1回定例会で付託された請願第1号廃棄物処理施設整備事業（廃プラスチック油化施設）の採択については、請願者の意見も伺い慎重に審査し、

継続審査とした。付託議案第1号名寄市犯罪のない安全で安心な地域づくり条例は、担当者の説明を聞き、委員間の自由討議も行い、一部修正を加え可決すべきものと決定した。付託議案第2号名寄市公共施設の暴力団等排除に関する条例は、担当者の説明を聞き、慎重に審査し可決すべきものと決定した。

経済常任委員会

委員会は4月8日、5月10日、5月28日、6月15日の4回開催した。地域交流センター視察、駅横再開発、まちづくり交付金事業、平成22年度主要施策、名寄市立食肉センターの改修等の説明を受けた。特に、駅横事業の展開が

遅れているとの指摘をした。また、望湖台センターハウス継続運営に関する請願が付託され審査中である。



地域交流センター視察

建設常任委員会

委員会は、4月27日と6月2日の2回開催した。主な内容は、道路占用料徴収条例、都市計画審議会条例、下水道設置条例のそれぞれの一部改正について説明を受けた。また、22年度主要建設事業の概要、21年度除排雪の状況、公

営住宅家賃滞納者対応、北斗・新北斗公営住宅の建設計画等について、それぞれ報告を受けた。



北斗団地公営住宅完成予想図

議会運営委員会

委員会は、5回開催した。主な事項は5月11日開催の第1回臨時会の日程、第2回定例会の会期・日程を協議した。第2回定例会は、新市長の市政執行方針及び教育行政執行方針を受け、各会派の代表質問を、市政クラブ、凜風会、緑

風クラブ、市民連合の順で行うこと、一般質問は9名が行うことを確認した。平成22年度各補正予算案は、初日に提案説明を受け、最終日に質疑、採決等を行うこととした。名寄市老人クラブ連合会風連支部より出された、望湖台センターハウスの継続運営に関する請願を、経済常任委員会に付託することを確認した。

へこたれない



アスパラと私
JA 道北なよろ営農課 篠崎 英和

名寄市特産品の一つであるアスパラガスは、遅い作物です。まるで、竹の子のように地面をおしのけて、次々と生えてきます。根に蓄えた栄養で一つの株から若芽が何本も出て来ます。私が農協職員となって10年以上経ちました。完璧なノウハウも無く、天候に左右され、毎年が一発勝負の農業を営む農家をサポートするべく勤めております。しかしながら、農家の要望に添えられているのかどうか、自問自答の繰り返しです。農協職員として、また社会人としてアスパラガスのように遅く、ニョキニョキと日々成長できるように頑張ります。



子どもの農家体験・大人の受け入れ体験
名寄市西1条北4丁目 水間 健詞

「アグリチャレンジ in なよろ」と称し行ってきた子ども達向け農家体験の受け入は、今年から、本格的に中学生の研修旅行を受け入れています。5月26日・6月17日に、札幌の中学生が、我が農場にもやってきました。生徒さん達にとっては、体験と言ってもほんのわずかな時間で、また、受け入れ農家の皆さんも農繁期に対応するのは非常にご苦労があったと思いますが、今後も続ける予定です。なぜなら、子ども達を社会の財産と考え、自らの生業に責任と誇りを感じているのなら、次の世代にその姿を伝えていくのは、現役世代の社会的使命と考えるからです。

議会報告会を開催します

昨年に引き続き、7月21日(水)と22日(木)に、議会報告会を開催します。

名寄市議会の1年間の活動を報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見を伺いたいと思います。お近くの会場にぜひご参集ください。

記

7月21日(水)

ふうれん地域交流センター 午後6時30分

名寄福祉センター 午後6時

7月22日(木)

名寄市役所智恵文支所 午後6時30分

名寄市民会館 午後6時

編集後記

4月5月の天候不順が嘘のように、6月は真夏を思わせるほどの好天に恵まれ、生育が遅れていた農作物も順調に回復しているように思われます。しかし、長期予報によると冷夏が伝えられており、昨年のような長雨による農作物の被害などが起こらないようにと願います。

さて、国会では鳩山首相から菅首相へと、政権が代わっても相変わらず、首のすげ替えが早いようです。

一方、名寄市では、島多慶志市長から、加藤剛士市長にバトンが渡され2カ月が経ちました。今定例会においても、新市長の市政執行方針に対する質問が当然多くを占めました。

昨年の政権交代に伴い地方自治体は、なお一層の自主自立が求められています。議会としても、市民の皆さんとの対話を重視して、今後の市政に反映していきます。(祐)

